

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長
谷 口 研 二 (公印省略)

教員の公募について（依頼）

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり一般教科（国語）の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 准教授，講師または助教 1 名
2. 所属学科 一般教科（国語）
3. 担当科目 国語，および国語関連科目
4. 応募資格
 - (1) 本校の教育方針に賛同される方で，本校在籍の教員および非常勤講師と協力して学生教育を進められる方。
 - (2) 心身ともに健康で，高等専門学校における学生指導（学級担任，クラブ顧問，寮生指導など）に熱意を持ってあたり，本科及び専攻科の教育と研究の両立ができる方。地域貢献（公開講座や出前授業など）にも積極的に取り組める方。
 - (3) 高専の学生に高等学校の教科書（現代文・古文・漢文）を用いて国語の聞く力，話す力，読む力，書く力を総合的かつ効率的に伸ばす教育のほか，レポート・小論文・プレゼンテーションなどの作成や発表についても指導できる方，下記（参考）でふれたいずれの科目も担当できる方が望ましい。将来的には，社会科や外国語科との複合・融合された科目の立案や担当をしていただく可能性もあります。
 - (4) 修士以上の学位を有する方。（着任時まで取得見込みの方を含む。博士の学位を有する方が望ましい。）
 - (5) 過去5年以内に1編以上の著書・論文等を有する方。
 - (6) 教育経験がある方，高等学校教諭の免許状を有する方が望ましい。
5. 採用予定日 平成27年4月1日
6. 提出書類
 - (1) 履歴書（本校ホームページからダウンロードできる指定の様式を使用）
 - (2) 研究業績一覧（著書・論文・口頭発表等を査読の有無にて分類のこと。書式は任意）
 - (3) 主要著書・論文等の概要（書式は任意）及び別刷（3編以内，コピー可）
 - (4) 教育歴一覧（機関名・授業科目・週当りの時間数・期間を記入し，シラバスや授業アンケート結果があれば添付すること。書式は任意）
 - (5) 高等専門学校における教育と学生指導に対する抱負（A4用紙1枚程度，書式は任意）
 - (6) 着任後の研究計画（A4用紙1枚程度，書式は任意）
 - (7) 照会可能な方2名の氏名および所属機関・電子メールを含む連絡先（書式は任意）
 - (8) 推薦者がいる場合は推薦書

※応募書類は原則として返却致しませんが、返却を希望される場合は、宛名、送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封して下さい。
後日着任手続きのために電子ファイル形式での書類提出をお願いすることがあります。

7. 応募締切 平成27年2月16日(月)必着

8. 選考方法 第1次選考 書類審査

第2次選考 第1次選考合格者を対象に面接審査および模擬授業

(平成27年2月下旬頃を予定)

(面接および模擬授業に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。)

※本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績等が同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。

9. 問い合わせ先 奈良工業高等専門学校 一般教科主任 榊原 和彦

Tel:0743-55-6063, FAX:0743-55-6019

E-mail:koubo2015@libe.nara-k.ac.jp

10. 書類提出先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22番地

奈良工業高等専門学校 総務課人事係 Tel:0743-55-6014

(封筒に「国語担当教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。)

(参考)

◆ 奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科(5年)と専攻科(2年)があります。高専はその教育目標や学生の年齢層(本科:15~20歳,専攻科:20~22歳)の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があり、教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導など多様な業務を要求されます。以下では、奈良高専の教員(一般教科)の授業以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

① 学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、ホームルームや教室清掃をはじめスポーツ大会や高専祭など各種行事での指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

② 学校運営のための各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。すべての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。

③ 研究

高専の教員には、最先端の教育を行うために研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。また、独立行政法人大学評価・学位授与機構による業績審査を5年に1度受けることになっています。

④ クラブ顧問

ほぼすべての教員がクラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会(地区大会・全国大会)の運営や各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などを行っています。

⑤ 学生寮の宿直

原則として全教員が交代で学生寮の宿直を行い、巡回・点呼、緊急時の対応などにあたっています。

⑥ その他(国語教員の場合)

以下の「奈良高専における国語教育について」を参照のこと。

◆ 奈良高専における国語教育について

本校国語科では、工業高専というユニークな学校制度において、どのような国語教育が学生にとって真に有効か、さらに学生の人間性涵養にも資するにはどうすればよいか、常によりよい方法を探りつつ教育に取り組んでいます。

本科1年から3年においては（「国語Ⅰ」「国語Ⅱ」「国語Ⅲ」）、高校3年間相当の国語力を身につけさせるべく、検定教科書を使用し、古典も含めた文学作品や評論などさまざまな文章を読ませ、できる限り自分の考えを発表・表現させるようにしています。4年生の「人文科学総合Ⅰ」は、社会科の教員と分担しながら、国語表現に重点を置き、また日本文化にも親しめる内容としています。

専攻科においても、必修科目として「日本語表現論」を、また教養を深めるための選択科目の一つとして「比較現代文化論」を開講しており、本科・専攻科ともに従来の国語教育にとどまらず、技術者に必要な表現力と論理的思考力、幅広い視野を学生に身につけさせるよう努めています。

その他に国語科では、情報メディア教育センター運営委員会と協力して毎年読書感想文コンクールを実施しています。また、地域貢献の一環として公開講座「日本文学講座」を国語科教員全員で担当するかたちで実施しています。

これからの本校の国語教育に他の教員と協力しながら意欲的に取り組んで頂ける方、アクティブ・ラーニングや協働学習など、学生にとってより効果的とされる新しい教育方法を積極的に試行し、辛坊強く学生に理解を促すことのできる方の応募を望んでいます。

以上